

広域地方計画フォーラムディスカッション

3月12日・13日の2日間、広域地方計画フォーラムディスカッションでファシリテーターを務めてきました。

この研修は、国土交通省主催で「災害に強い国土づくりに向けた広域的な取り組みに繋げる」ことを趣旨としたものです。全国から84名の地方整備局、自治体の職員の方々が参集、一堂に会して、「自由闊達な発散と今後に繋がる収束」をファシリテーターによって参加者全員で共感を得る場を目指しています。

また、今までにない課題を解決するためには、対話によって進めることが求められています。今回は、対話を体験するというのも目的の一つとなっています。

☆1日目はワールドカフェ

参加した方々の事例を共有し、意見交換・対話の場として、ワールドカフェ方式で進められました。メイン・ファシリテーターの場を見ながらのていねいな進行によって、はじめは戸惑っていた参加者の方々も徐々にうちとけ、活発な意見交換が行われました。

話し合いの途中で話題提供やインタビューなどがあり、より一体感のあるワールドカフェとなりました。



☆2日目は各圏域に分かれての対話

東北、首都、中部、北陸、近畿、中国、四国、九州の各圏域に分かれて、その圏域に住むファシリテーターの進行のもとで話し合いました。今までにない課題について対話をする事で「新しい何か」を探る目的のため、話し合うテーマ設定から参加者が決めるプロセスで進めました。

参加者の方々からは、「いろいろな気づきがたくさんあった」「ファシリテーターがいると話し合いが進む」など、好評をいただきました。

ファシリテーターとしても貴重な経験となりました。